

熊本市 感染症発生動向調査 速報

現在の流行状況

感染性胃腸炎に気をつけましょう！

熊本市における第43週(10月19日～10月25日)の定点医療機関あたりの感染性胃腸炎患者報告数は、6.06人(定点数16ヶ所、患者報告数97人)で、前週(6.00人)より微増しました。冬場にはノロウイルスなどによる感染性胃腸炎が流行しますので、流水と石鹸でていねいに手を洗う・食品はきちんと加熱して食べるなど、感染予防に努めましょう。

伝染性紅斑(りんご病)の報告が増えています。

熊本市における第43週(10月19日～10月25日)の定点医療機関あたりの患者報告数は、1.25人(定点数16ヶ所、患者報告数20人)となり、前週(1.13人)より増加しました。伝染性紅斑(りんご病)は、5～9歳の学童に最も多く発生し、次いで0～4歳に多く見られる感染症です。頬がりんごのように赤くなるので、りんご病とも呼ばれています。

【伝染性紅斑(りんご病)について】

○感染経路：咳のしぶきやくしゃみにより感染します。

○症状：頬に発疹が出る7～10日位前に、微熱やかぜ症状などが見られ、1週間くらいでよくなることが多いです。発疹が出て、頬が赤くなるころには感染力はほぼ消えます。大人がかかると、関節痛や関節炎を起こすことがあります。妊娠初期の感染について、流産の危険性も指摘されています。

○治療法：対症療法を行います。

○予防方法：ていねいな手洗いとうがいを行いましょう。特に 妊娠している人は流行時には人混みを避けましょう。

期 間		平成27年 第42週		平成27年 第43週	
		10/12～10/18		10/19～10/25	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		4	0.16	0	0.00
RSウイルス感染症		25	1.56	24	1.50
咽頭結膜熱(プール熱)		4	0.25	5	0.31
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		29	1.81	34	2.13
感染性胃腸炎		96	6.00	97	6.06
水痘(みずぼうそう)		1	0.06	2	0.13
手足口病		11	0.69	7	0.44
伝染性紅斑(りんご病)		18	1.13	20	1.25
突発性発しん		12	0.75	11	0.69
百日咳		0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ		0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		4	0.25	6	0.38
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		29	5.80	32	6.40
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		1	0.20	1	0.20
マイコプラズマ肺炎		13	2.60	6	1.20
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	1	0.20